

安全データシート

1. 化学品及び会社情報

化学品の名称	: イオン試験紙カップチェック A
供給者の会社名称, 住所及び電話番号	
会社名称	: 東洋濾紙株式会社
住所	: 東京都千代田区内幸町2-2-3 日比谷国際ビル5階
担当部門	: 品質保証室
電話番号	: 03-5521-2176
FAX番号	: 03-5521-2177
メールアドレス	: trk-hinsho@advantec.co.jp
推奨用途	: Cu ⁺ 、Cu ²⁺ 測定 (有効範囲: 0~50mg/L)
使用上の制限	: 上記以外の用途にご使用される場合は、 事前にご相談ください。

2. 危険有害性の要約

化学品のGHS分類

物理化学的危険性	: 区分に該当しない。
健康有害性	
眼に対する重篤な損傷性/眼刺激性	: 区分1。
呼吸器感作性又は皮膚感作性	: 区分1。(皮膚感作性)
生殖細胞変異原性	: 区分1B。
発がん性	: 区分2。
特定標的臓器毒性 (単回ばく露)	: 区分1 腎臓、中枢神経系。
特定標的臓器毒性 (反復ばく露)	: 区分1 血液系、呼吸器系。 区分2 肝臓、腎臓、中枢神経系。

環境有害性

生態毒性

水生環境有害性 短期 (急性) : 区分1

GHSラベル要素

絵表示又はシンボル :



注意喚起語 :

危険。

危険有害性情報 :

重篤な眼の損傷。
アレルギー性皮膚反応を起こすおそれ。
遺伝性疾患のおそれ。
発がんのおそれの疑い。
腎臓、中枢神経系の障害。
長期にわたる、または反復ばく露による血液系、呼吸器系の障害。
長期にわたるまたは反復ばく露による肝臓、腎臓、中枢神経系の障害のおそれ。
水生生物に非常に強い毒性。

注意書き

安全対策

: 保護手袋/保護衣/保護眼鏡/保護面を着用すること。

汚染された衣類を直ちに全て脱ぐこと。

取扱後は手をよく洗うこと。

環境への放出を避けること。

応急処置

: 眼に入った場合、水で数分間注意深く洗うこと。次にコンタクトレンズを着用していて容易に外せる場合は外すこと。その後も洗浄を続けること。

直ちに医師に連絡すること。

皮膚に付着した場合、多量の水で洗うこと。

皮膚刺激又は発しんが生じた場合、医師の診断、手当てを受けること。

ばく露又はばく露の懸念がある場合医師の診察を受ける。

廃棄

: 内容物/容器を都道府県知事の許可を受けた専門の廃棄処理業者に委託処理すること。

3. 組成及び成分情報

化学物質・混合物の区別

: 混合物

化学名又は一般名

: 試験紙

成分及び濃度又は濃度範囲

: セルロース (CAS No. 9004-34-6)

ヒドロキノン (CAS No. 123-31-9)

トリトン X-100 (CAS No. 9002-93-1)

フェノールフタレイン (CAS No. 77-09-8)

メチルオレンジ (CAS No. 547-58-0)

官報公示整理番号

化審法

: ヒドロキノン (3)-543

トリトン X-100 (7)-172

フェノールフタレイン (9)-1152

メチルオレンジ (5)-4278

安衛法

: ヒドロキノン 461

4. 応急措置

- | | | |
|-----------|---|--|
| 吸入した場合 | : | 該当しない。 |
| 皮膚に付着した場合 | : | 直ちに付着部又は接触部を多量の水で十分に洗い流し、医師の診察を受ける。 |
| 眼に入った場合 | : | 直ちに清浄な流水で十分に洗眼する。
異常がある場合は、医師の診察を受ける。 |
| 飲み込んだ場合 | : | 直ちに水または卵白を混ぜた牛乳を飲ませ、医師の診察を受ける。 |
-

5. 火災時の措置

- | | | |
|-------------|---|---------------------------------------|
| 適切な消火剤 | : | 水（噴霧）、粉末消火剤、泡消火剤、二酸化炭素消火剤、ハロゲン化消火剤など。 |
| 使ってはならない消火剤 | : | データなし。 |
-

6. 漏出時の措置

- | | | |
|------------------------|---|--------|
| 人体に対する注意事項, 保護具及び緊急時措置 | : | データなし。 |
| 環境に対する注意事項 | : | データなし。 |
| 封じ込め及び浄化の方法及び機材 | : | データなし。 |
-

7. 取扱い及び保管上の注意

- | | | |
|-----|---|---|
| 取扱い | : | 火器のそばの取扱いに注意する。 |
| 保管 | : | 変質および吸湿による劣化を防止するため、密閉して、冷暗所に貯蔵する。
また酸化物質、有機過酸化物質などと、同一の場所に置かない。
1,000kg以上の保存時には、消防法(指定可燃物：ぼろ及び紙くず)の適用を受ける。 |
-

8. ばく露防止及び保護措置

- | | | | |
|------|----------|-------------|--------|
| 許容濃度 | 日本産業衛生学会 | : | データなし。 |
| | ACGIH | : | データなし。 |
| 設備対策 | : | 必要に応じて講じる。 | |
| 保護具 | : | 必要に応じて使用する。 | |
-

9. 物理的及び化学的性質

物理状態	: 固体、表面が平滑な紙。
色	: 白色、黄緑色。
臭い	: なし。
融点/凝固点	: データなし。
沸点又は初留点及び沸点範囲	: データなし。
可燃性	: あり。
爆発下限界及び爆発上限界/可燃限界	: 該当しない。
引火点	: 該当しない。
自然発火点	: 該当しない。
分解温度	: 該当しない。
pH	: データなし。
動粘性率	: 該当しない。
溶解度	: データなし。
n-オクタノール/水分配係数	: データなし。
蒸気圧	: データなし。
密度又は相対密度	: データなし。
相対ガス密度	: 該当しない。
粒子特性	: データなし。

10. 安定性及び反応性

反応性	: 通常の実取扱い条件では安定。
化学的安定性	: 通常の実取扱い条件では安定。
危険有害反応可能性	: データなし。
避けるべき条件	: 直射日光、紫外線、水漏れ、高温、高湿、屋外保管。
混触危険物質	: 酸化剤、強塩基。
危険有害な分解生成物	: 一酸化炭素、二酸化炭素、硫黄酸化物、水素、窒素酸化物。

11. 有害性情報

急性毒性	
経口	: 区分に該当しない。 混合物の成分の急性毒性推定値 (ATE) を加算式による計算値から判断した。 (成分として) 区分3 飲み込むと有害。 ラット 経口 LD ₅₀ =60 mg/kg ウサギ 経口 LD ₅₀ =150 mg/kg (メチルオレンジ) 区分4 ヒト 経口 LD ₀ =29mg/kg。 ラット 経口 LD ₅₀ =302mg/kg。 (ヒドロキノン)

区分4

ラット 経口 LD₅₀=1,800mg/kg。

(トリトン X-100)

- 経皮 : 区分に該当しない。
 吸入：ガス : 区分に該当しない。
 吸入：蒸気 : 区分に該当しない。
 吸入：粉塵、ミスト : データ不足のため分類できない。
 皮膚腐食性／刺激性 : データ不足のため分類できない。
 (成分として)
 区分2 ヒト 2% 軽度。
 (ヒドロキノン)
- 眼に対する重篤な損傷性/眼刺激性 : 区分1。
 (成分として)
 区分1。 (ヒドロキノン)
 区分2 A。 (トリトン X-100)
- 呼吸器感作性又は皮膚感作性 : 区分1。
 (成分として)
 区分1。 (ヒドロキノン)
- 生殖細胞変異原性 : 区分1 B。
 (成分として)
 区分1 B cyt-hmn-lym 50 umol/L/48H。
 mnt-hum-lym 75 umol/L。
 mmo-sat 2 umol/plate (+S9)。
 mmo-sat 750 nmol/plate (-S9)。
 (ヒドロキノン)
 区分2 遺伝性疾患のおそれの疑い。
 体細胞in vivo変異原性試験のマウス骨髄を用いた染色体異常試験は、「陰性」だが、マウス赤血球を用いた6つの小核試験では、「陽性」との記述がある。
 (フェノールフタレイン)
- 発がん性 : 区分2。
 (成分として)
 区分2。
 ラット 経口 TD₀₁=12875 mg/kg/103W-。
 マウス 経口 TD₀₁=25750 mg/kg/2Y-C。
 IARC =3 (ヒドロキノン)
 区分2 発がんのおそれの疑い。
 IARCではグループ2B (ヒトに対して発がん性があるかもしれない) に分類している。 (フェノールフタレイン)
- 生殖毒性 : 区分に該当しない。
 (成分として)
 区分1 B 生殖能または胎児への悪影響のおそれ。 (フェノールフタレイン)
- 特定標的臓器毒性 (単回ばく露) : 区分1。
 (成分として)

		区分1 腎臓、中枢神経系。 (ヒドロキノン)
特定標的臓器毒性 (反復ばく露)	:	区分1 血液系、呼吸器系。 区分2 肝臓、腎臓、中枢神経系。 (成分として) 区分1 血液系、呼吸器系。 区分2 肝臓、腎臓、中枢神経系。 (ヒドロキノン)
誤えん有害性	:	区分1 長期または反復暴露による腸の障害。(フェノールフタレイン) データ不足のため分類できない。

1 2. 環境影響情報

生態毒性

水生環境有害性 短期 (急性)	:	区分1。 (成分として) 区分1。(ヒドロキノン)
水生環境有害性 長期 (慢性)	:	データ不足のため分類できない。
残留性・分解性	:	データなし。
生体蓄積性	:	データなし。
土壌中の移動性	:	データなし。
オゾン層への有害性	:	データ不足のため分類できない。

1 3. 廃棄上の注意

該当法規に従い、廃棄物として処理する (国、都道府県ならびに地方自治体の法規、条例に従う)。

一般産業廃棄物と同様に、都道府県知事が許可した産業廃棄物処理業者もしくは、地方公共団体がその処理を行っている場合には、その団体に委託して処理する。

焼却処分するときは、管理された焼却設備を用いて、大気汚染防止法、廃掃法、水質汚濁防止法等に沿って処理する (廃棄時には、産業廃棄物として処理することをおすすめいたします)。

1 4. 輸送上の注意

国内規制がある場合の規制情報 : 消防法における指定可燃物に該当する。

15. 適用法令

消防法

： 第九条の四(指定数量未満の危険物等の貯蔵又は取扱いの基準)、危険物の規制に関する法令第一条の十二、別表第四指定可燃物(ぼろ及び紙くず。1,000kg以上は消防法の適用を受ける。1,000kg未満の場合、物品の貯蔵及び取扱いの技術上の基準は市町村条例で定める)。

化学物質排出把握管理促進法 (化管法)

： 第二種指定化学物質(政令第74号)
(フェノールフタレイン)
第一種指定化学物質(政令第336号)
(ヒドロキノン)
第一種指定化学物質(政令第408号)
(トリトン X-100)

労働安全衛生法(安衛法)

： 対象化学物質(政令第461号)

16. その他の情報

記載内容の取扱い

本データシートの記載内容は、現時点で入手できる資料、情報、データに基づいて作成しており、新しい知見により改訂されることがあります。

また、含有量、物理・化学的性質、危険・有害性等に関しては、いかなる保証をなすものではなく、注意事項は、通常の手扱いを対象としたものですので、特殊な取扱いの場合には、用途・用法に適した安全対策を実施の上、ご利用ください。

ご需要家各位は本シートを参考にして、自らの責任において、個々取扱い等の実態に応じた適切な措置をお取りくださいますよう、お願いいたします。

参考文献

- ・ GHSに基づく化学品の分類方法 (JIS Z 7252:2019)
 - ・ GHSに基づく化学品の危険有害性情報の伝達方法ーラベル, 作業場内の表示及び安全データシート (SDS) (JIS Z 7253:2019)
-